

とうぶ

# 東部エリア

東部エリアの低地部は、そのほとんどが江戸時代の干拓事業によって拓かれた土地です。文化財指定こそされていませんが、昔の海岸部付近には多くの貝塚や古墳があり、坪生から笠岡にかけては古代の窯跡も多く確認されています。

蔵王山から南に延びる深津高地は、万葉集に深津島と詠まれ、宮の前廃寺の前には港があったと考えられており、干拓以前のこの地域の風景は、今からは想像のできないものです。



宇山のエリアマップ



東部エリア

東部エリア

## 501 宮の前廃寺跡



指定種別：国史跡  
所在地：蔵王町  
(蔵王八幡神社)  
見学情報 **P** **WC**  
福山東 IC より約 300m

蔵王八幡神社境内に所在し、東に塔、西に金堂を配した法起寺式の伽藍配置を持つ古代寺院跡で、海蔵寺の名が伝えられていました。発掘調査により、塔と金堂には埴積の基壇を用いていることが分かり、レンガで環境整備を行っています。出土遺物には奈良・平安時代の軒瓦や「紀和古女」などの文字を陰刻した瓦も出土しています。

## 502 福山衝上断層 奈良津露頭



指定種別：県天然記念物  
所在地：奈良津町  
見学情報  
落石の危険があるため、がけ面に近寄らないでください。  
福山東 IC より約 2.4km

福山衝上断層は、木之庄町から坪生町に至る衝上断層で、古い地層である山側の花崗岩が、新しい地層である南側の福山累層に乗り上げた状況が観察できます。露頭の保護のため、断層面は見にくくなっています。

## 503 福山衝上断層 蔵王城山露頭



指定種別：県天然記念物  
所在地：蔵王町  
見学情報  
福山東 IC より約 1.2km

木之庄町から続く福山衝上断層の奈良津町の露頭と、蔵王町城山の露頭が県天然記念物として保存されています。蔵王城山の露頭では礫層・礫砂層の堆積が厚く、洪水層の上に花崗岩が乗り上げたものと考えられます。

## 504 伝足利義昭居館跡「葎山」



指定種別：市史跡  
所在地：西深津町  
(稲荷神社)  
見学情報  
福山東 IC より約 2.5km

1576(天正4)年、室町幕府最後の将軍足利義昭は、織田信長に京都を迫られ、毛利氏を頼って鞆に到着します。1587(天正15)年に再上洛するまでの間、鞆や津之郷に居を構えますが、この葎山にも足利義昭の居館があったとの伝承が残っています。

## 505 大陰2号古墳



指定種別：市史跡  
所在地：春日町能島  
(能島第2公園内)  
見学情報  
福山東 IC より約 3.2km

古墳時代後期の円墳と推定され、内部主体は花崗岩を使用した無袖式の横穴式石室です。出土遺物は知られていませんが、北東約90mに位置していた1号古墳からは金環や須恵器が出土しています。

## 506 坪生滑池窯跡



指定種別：市史跡  
所在地：坪生町  
(坪生ニュータウン内)  
見学情報  
福山東 IC より約 6km

滑池の東斜面に2基の須恵器窯跡があり、指定地は芝生で保護しています。出土した土器から奈良・平安時代に操業されていたと考えられ、岡山県笠岡市北西部を含むこの一帯に、このような窯跡が多く確認されています。

## 507 宇山のエヒメアヤメ及びその自生地



指定種別：市天然記念物  
所在地：春日町  
見学情報  
植物保護のため詳細な場所は非公開です。

元来は大陸系の植物で、日本では岡山県以西の本州、四国、九州にわずかに自生し、大陸と地続きであったことを示す植物として重要で、環境庁の絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。エヒメアヤメの名は1897(明治30)年に愛媛県で発見されたことにちなんで名付けられましたが、江戸時代から誰故草(たれゆえそう)の名で呼ばれており、『西備名区』にも紹介されています。

## 508 大谷古墳



指定種別：未指定  
所在地：福山市引野町  
(ゆめみが丘第2公園内)

大谷古墳は、福山湾を見おろす引野丘陵の南斜面にあった古墳です。2000(平成12)年にこの一帯が開発されることになり、これに伴って発掘調査が行われました。発掘調査の結果、墳丘は直径約8.5m、残存する高さ1.7mであることが明らかになりました。また石室の側壁の石組は左右非対称の構造を持つ珍しい形態であることも分かりました。内部に副葬品などはほとんど残されていませんでしたが、わずかに見つかった須恵器や土師器などから6世紀後半に造られた地元有力者の墓と考えられています。その後事業者の寄贈により2002(平成14)年に移築整備が行われました。なお石室は元は南東方向に開口していましたが、移築用地の関係で現在は北向きになっています。